

科目名	資格対策特別講座							年度	2026
英語科目名	Qualification Preparations Special Lecture							学期	前期
学科・学年	電子・電気科 電気工学コース 2年次	必/選	選2	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	山本 絵美		教員の実務経験	有	実務経験の職種		放送管理業務		
【科目の目的】 この科目では、学生が様々な国家試験に合格するために必要な知識を確実に習得することが主な目的です。そのために、授業中の演習を通じて実践的なスキルを養いつつ、自宅での学習を組み合わせ、試験に自信を持って臨むための基盤を築くことを目的とする。									
【科目の概要】 様々な資格対策を行います。									
【到達目標】 陸上特殊無線技士の操作範囲の無線技術、法規を身に着け、無線従事者資格の技術レベルを身につけることを目標とする。									
【授業の注意点】 第一級陸上無線技術士、第二級陸上無線技術士の国家試験科目を学習するために必要な知識について学習する。確実な知識により国家試験問題を解答することができるためには、授業中の演習により学習するが、自宅で学習することも必要である。このため必ず授業に出席するは必要があり、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	基本原理に関する高度な理解を示し、他の学生に指導できる。	基本原理を深く理解し、洞察的な説明ができる。	基本原理を十分に理解しており、適切に説明できる。	基本原理の一部を理解しているが、大部分は理解していない。	基本原理を理解していない。				
到達目標 B	試験範囲を完全に習得し、高度な問題にも深く対応できる。	試験範囲を網羅的に習得し、高度な問題にも対応できる。	試験範囲の大部分を習得し、基本的な問題に対応できる。	技術知識の一部を習得したが、試験範囲を網羅していない。	技術知識をほとんど習得していない。				
到達目標 C	高度な問題に深く対処し、革新的な解決策を展開できる。	複雑な問題にも対応でき、創造的な解決策を提案できる。	多くの問題に対処でき、基本的な問題を解決できる。	基本的な問題に対処できるが、複雑な問題には対応できない。	問題解決能力がほとんどない。				
到達目標 D	優れた自己評価能力を持ち、効果的な改善策を実行し、学習プロセスを卓越させている。	継続的に自己評価し、改善計画を立て、成果を示している。	定期的に自己評価を行い、改善ポイントを特定して努力している。	時折自己評価を行い、一部の改善を試みているが、一貫性に欠ける。	自己評価がなく、改善意識が不足している。				
到達目標 E	優れた自宅学習スキルを持ち、計画的に学習し、他の学生にも学習方法を教えることができる。	自宅学習を積極的に実践し、効果的な学習戦略を使用して高い成果を上げている。	自宅学習の計画を立て、基本的な学習タスクを遂行し、進捗を確認できる。	自宅学習を試みているが、効果的な学習計画が不足しており、成果が限定的。	自宅学習をほとんど行っておらず、効果的な学習戦略が欠けている。				
【教科書】 レジュメ・資料を配布する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験：70%試験を総合的に評価する。 小テスト：15%授業内容の理解度を確認するために実施する。 平常点：15%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		資格対策特別講座			年度	2026
英語表記		Qualification Preparations Special Lecture			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	資格試験対策	資格試験対策	1 資格概要	資格の運用範囲と職務内容	3	
			2 出題範囲	資格試験の問題解説		
2	資格試験問題解析 1	問題研究 1	1 出題内容の解析 1	問題解説 1	3	
3	資格試験問題解析 2	問題研究 2	1 出題内容の解析 2	問題解説 2	3	
4	資格試験問題解析 3	問題研究 3	1 出題内容の解析 3	問題解説 3	3	
5	資格試験問題解析 4	問題研究 4	1 出題内容の解析 4	問題解説 4	3	
6	資格試験問題解析 5	問題研究 5	1 出題内容の解析 5	問題解説 5	3	
7	模擬試験 1	模擬試験 1	1 模擬試験 1	模擬試験 1	3	
8	出題内容検討	出題範囲の確認	1 傾向対策	新問題対策	3	
9	資格の傾向	資格の将来	1 新技術	新技術のトレンド	3	
10	資格試験問題解析 6	問題研究 6	1 出題内容の解析 6	問題解説 6	3	
11	資格試験問題解析 7	問題研究 7	1 出題内容の解析 7	問題解説 7	3	
12	資格試験問題解析 8	問題研究 8	1 出題内容の解析 8	問題解説 8	3	
13	資格試験問題解析 9	問題研究 9	1 出題内容の解析 9	問題解説 9	3	
14	資格試験問題解析 10	問題研究 10	1 出題内容の解析 10	問題解説 10	3	
15	資格試験対策効果測定	効果測定	1 資格到達レベル確認	資格到達レベル確認	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等